

種名	ア マ サ ギ <u>Bubulcus ibis</u>												
													
分類	コウノトリ目 サギ科												
特徴	夏羽では、頭から首が橙色になるシラサギ類。世界中の熱帯から温帯で広く繁殖する。近年、北上の傾向があり、北海道でも夏期に夏羽の個体が観察される例が増えているので、近い将来、繁殖することも考えられる。冬期は南方へ渡去するが、西南日本では越冬する個体もいる。												
生活	農耕地や草原、川原などで見られるが、他のシロサギ類と比べると乾いた草地を好む傾向があり、魚よりバッタのような昆虫やカエルをよく捕まえる。英名が示すように、牛のような家畜や大形の草食動物について歩く習性を持ち、それらの動物にたかるハエなど動物が通る時に飛び出すバッタなどを捕まえて食べる。												
声	繁殖地では「ゴァー」とか「グワー」とかいう、濁っているが割合に柔らかな声で鳴くことがあるが、他のシラサギほど鳴かない。また、繁殖期以外はほとんど鳴くことはない。												
見分け方	夏羽は特徴ある色彩で見分けやすい。冬羽では、くちばしは短めで黄色く、頭は淡い黄色を帯びていることが多く、チュウサギより二回り小さい。												
時期	(月)	-	-	-	-	5	6	7	8	9	-	-	-
その他	全長(L)50cm 翼開長(W)89cm												
参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥													